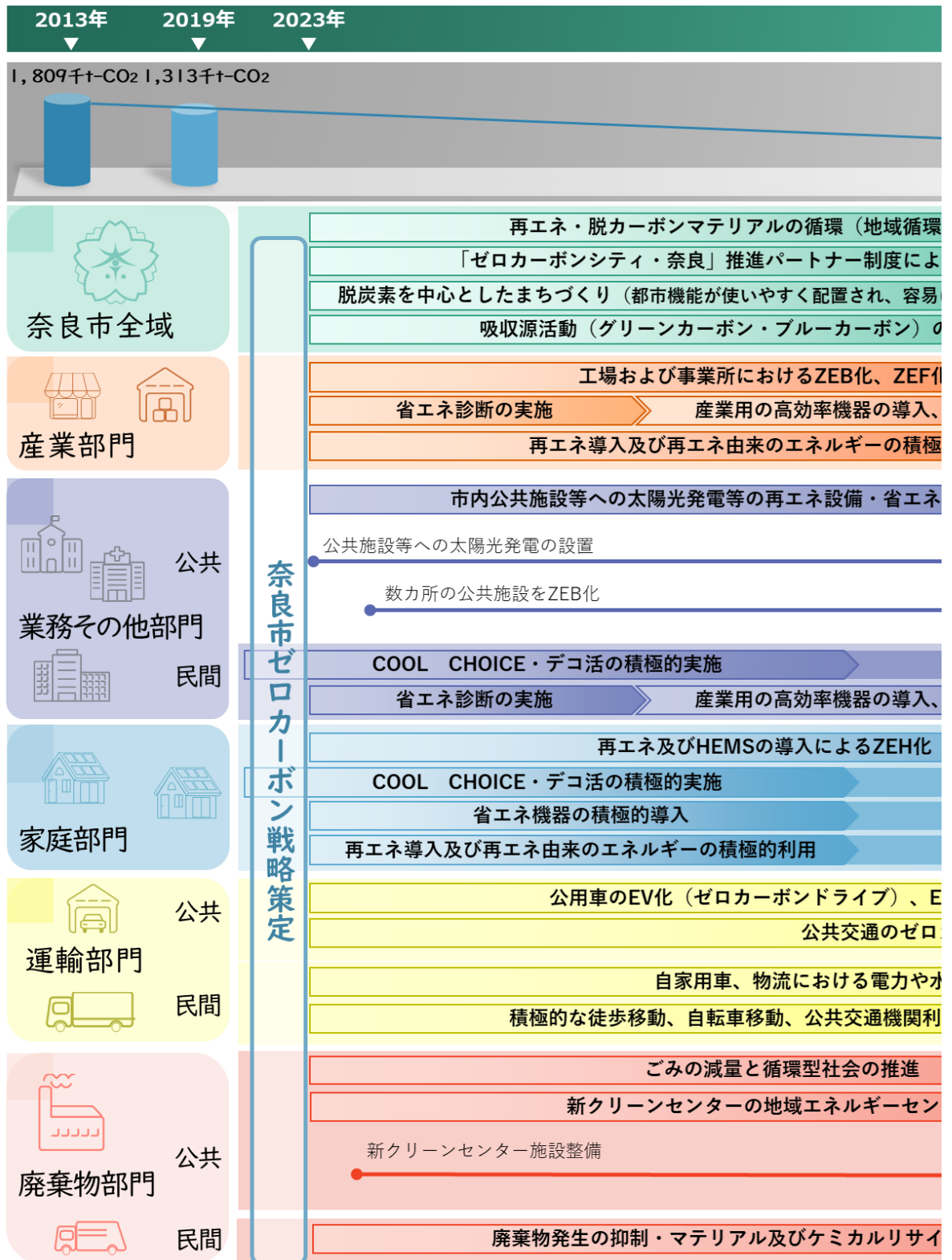




8. 脱炭素ロードマップ

1 2050年までの脱炭素ロードマップ







2 「ゼロカーボン古都モデル・奈良」のためにできること

市民にできること

- 住宅への太陽光発電設備の設置や再エネ電力を導入し、環境にやさしい電力を取り入れましょう。
- 買い替えの際には、LED 照明や省エネ家電、家庭用燃料電池等の省エネ機器を導入しましょう。
- 住宅の新築や改築の際は、ZEH 化や高断熱化、高効率な省エネ機器の導入・更新等により環境負荷の小さい暮らしを目指しましょう。
- 車の買い替えの際は、電気自動車や燃料電池自動車などの環境配慮型自動車に変更しましょう。また、再エネ電力を使って、ゼロカーボン・ドライブを実践しましょう。
- 徒歩での移動や自転車での移動、公共交通機関の利用を心がけましょう。
- 域外から科学者を招いた環境教育や環境に関するイベントを通して、先端技術について知識を深めましょう。

事業者ができること

- 太陽光発電設備の設置や再エネ電力を導入し、環境にやさしい電力を取り入れましょう。
- 空調の適正温度設定やクールビズ・ウォームビズ、ノーマイカーデーの実施など、省エネ行動や環境配慮に努めましょう。
- 車の買い替えの際は、電気自動車や燃料電池自動車などの環境配慮型自動車に変更しましょう。また、再エネ電力を使って、ゼロカーボン・ドライブを実践しましょう。
- BEMS（ビルエネルギー管理システム）を導入し、エネルギー使用量の把握と省エネに努めましょう。
- 新築や改築の際は、ZEB 化や高断熱化や高効率な省エネ機器の導入・更新等により環境負荷の低減を目指しましょう。
- 事業所での緑化を積極的に進めましょう。

市が取組むこと

- **省エネ化・再エネ導入**
 - ・ 国や県、市の制度により、建築物の省エネ化（高断熱化や高効率な省エネ機器の導入・更新等）環境配慮を促す情報提供・支援を強化していきます。
 - ・ 環境配慮型自動車の普及のため、燃料供給設備（水素ステーションや EV 充電スポット等）の整備や誘致を推進します。
 - ・ 地域の事業者と連携した自伐型林業（採算性と環境保全を高い次元で両立する持続的森林経営）の支援などにより、森林整備を進めていきます。
 - ・ 今後整備する公共施設においては、ZEB 化を検討します。
 - ・ 積極的に再エネを導入し、災害に強いまちづくりに努めます。
 - ・ 公用車は順次、電気自動車や燃料電池自動車などの環境配慮型自動車に変更します。また、積極的に再エネ電力を使って、ゼロカーボン・ドライブを実現します。
- **普及啓発**
 - ・ また、電気自動車を活用したゼロカーボンイベントや環境配慮型自動車の体験イベントを開催します。
 - ・ 域外から科学者を招いた環境教育の場の提供や先端技術に関するイベントを開催します。



3 推進体制

本市は、市域のステークホルダーと協働して「ゼロカーボンシティ奈良市」を目指していくために、市の取組の周知や、市内の事業者や市民との脱炭素に向けた取組の意見交換を通して、施策の実施、進捗管理に係る庁内及び庁外の体制、市内事業者・市民との連携方法について検討し、施策を実施していくための推進体制である「奈良市ゼロカーボン協議会」の構築をめざします。

また、本戦略は環境マネジメントシステムの考え方にに基づき、PDCA サイクルによる継続的な進行管理を行います。PDCA サイクルは、本戦略に掲げる施策を計画的かつ実効性のあるものとして推進するため、施策・事業の進捗状況を点検・評価し、さらに評価結果を次の事業へとフィードバックします。

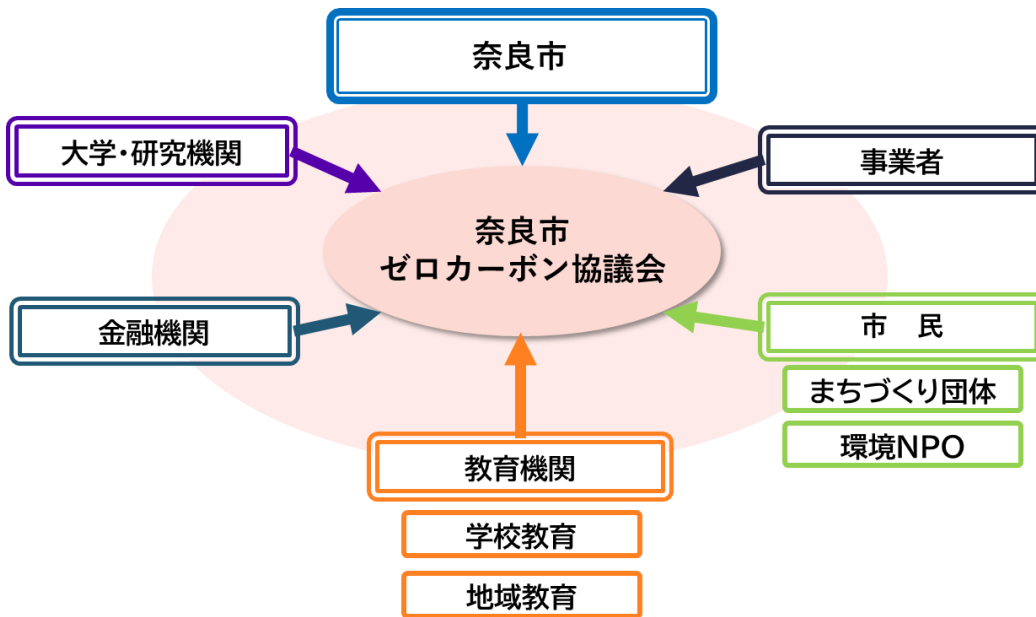


図 47 奈良市ゼロカーボン協議会のイメージ



観光地におけるゼロカーボンの取組

■ 栃木県における観光型 MaaS

MaaSとは、Mobility as a Service の略で、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスのことです。

栃木県日光地域では、観光地の交通手段の利便性向上のみならず、EV、カーシェアリングやシェアサイクル、EV バスなど環境にやさしいモビリティを活用した国内初の環境配慮型・観光 MaaS を実施しています。このサービスでは、スマートフォン 1 台でデジタルフリーパスに加え、歴史文化施設等の拝観・入場チケットやネイチャーアクティビティ等の観光コンテンツもワンストップで検索・購入・利用できます。

NIKKO MaaS のサービス概要

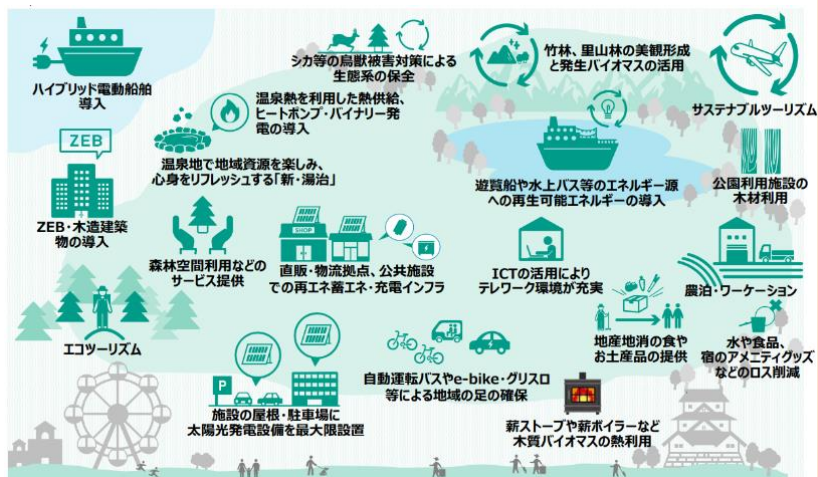
鉄道・バスをセットにしたお得なデジタルフリーパスのほか、EV・PHV カーシェアリングやシェアサイクル、EVバス等の環境にやさしいモビリティと歴史・文化・観光施設等の拝観・入場チケット、アクティビティ等の体験プログラムをスマートフォンから簡単に検索、購入いただくことができるサービスです。



出典) 栃木県 HP

環境省では、国立公園において先行して脱炭素化に取り組むエリアを「ゼロカーボンパーク」として推進しています。国立公園内における電気自動車や E バイク等の活用による移動の効率化と脱炭素化、国立公園に立地する利用施設における再エネの活用、脱プラスチックの取組によってサステナブルな観光地づくりに取り組んでいます。

2022 年 3 月時点では、中部山岳国立公園をはじめとする 10 か所の国立公園がゼロカーボンパークとして登録されています。



出典) 地域脱炭素ロードマップ (概要) (内閣府)